デジタル・ナレッジ

【後編】オープンバッジとは？（最新規格編）

オープンバッジ3.0徹底解説

次世代のスキル証明と最新技術の仕組み

2026年 9月発行

目次

01　はじめに　P.3

02　最新規格「オープンバッジ3.0」とは　P.4

03　なぜ今「3.0」？広がるリスキリング需要　P.5

04　進化の鍵となる新技術「DID/VC」　P.6

05　ユーザー・発行者・検証者のメリット　P.7

06　2.0から3.0への主な進化点　P.8

07　導入前の「よくあるご質問」　P.9

08　まとめ　P.10

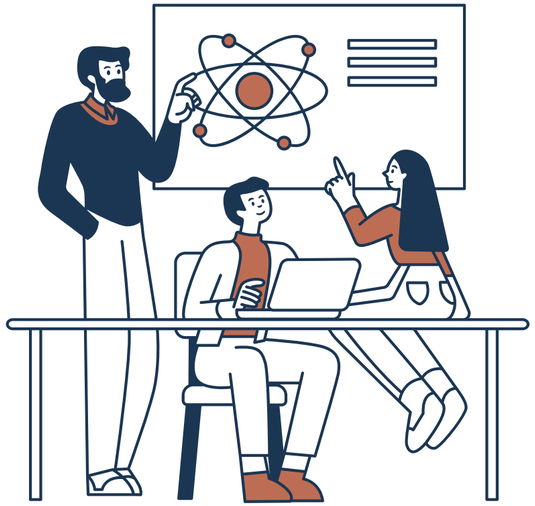
09　弊社ソリューション・製品のご紹介　P.11

01

はじめに

前編ではオープンバッジの基礎を解説しました。
学習歴の証明手段として普及が進む中、2024年5月に最新規格 **オープンバッジ3.0** が公開されました。

本資料では、信頼性と利便性が飛躍的に向上した「3.0」の特徴や、それを支える革新的な技術について詳しく解説します。
次世代の学習証明基盤への理解を深めましょう。



02

最新規格「オープンバッジ3.0」とは

オープンバッジ3.0は、2024年5月に公開されたデジタル証明の最新国際規格です。
従来の利便性を引き継ぎつつ信頼性が飛躍的に高まり、卒業証明書や免許証など厳格な証明が求められる場面でも利用可能になりました。

- ★ **Web技術の国際標準化機関（※W3C）が定める最新ルールに準拠**
- ★ **厳格な技術的裏付けにより、偽造や改ざんが「事実上不可能」に**
- ★ **埋め込めるデータの自由度が向上し、より柔軟なバッジ設計を実現**

※W3C：インターネットで使われる技術の標準化を進める国際的な非営利団体

NEW

なぜ今「3.0」？広がるリスキリング需要

03

より信頼性の高いデジタル証明が求められる背景には、社会全体での **学習のあり方の変化** があります。
この変化に耐えうる強固な証明基盤として3.0が誕生しました。

リスキリングの加速

社会人の学び直しが進み、スキルの客観的証明が急務に

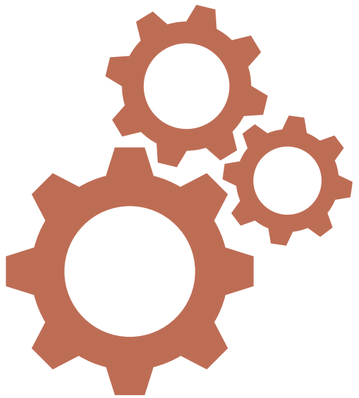
ジョブ型雇用の浸透

「学歴」から、具体的な「学習歴」や「専門スキル」重視へ

マイクロクレデンシャル（※）

学位よりも細かい単位での学習成果の可視化ニーズ

※マイクロクレデンシャル：数時間から数週間程度の短い学習プログラムの修了証明



進化の鍵となる新技術「DID/VC」

3.0の根幹をなすのが **2つの国際標準技術** です。
これにより、「誰が発行したか」を誰もが客観的に検証可能になりました。
独自のデジタル署名で不正な改ざんを即座に検出できます。

DID（分散型デジタルID）

企業に依存せず、個人で管理できる仕組み

VC（検証可能な資格証明）

安全にやり取りできる世界標準のデジタル証明書

ユーザー・発行者・検証者のメリット

最新技術の導入により、証明書に関わる三者すべてに新たなメリットが生まれます。

ユーザー（学習者）

取得した資格情報だけを提示し年齢などは伏せる等、開示情報を選択できプライバシーを保護

発行者（教育機関・企業）

紙の管理業務から解放され、改ざん防止でブランド価値向上

検証者（採用担当者等）

偽造が事実上不可能になり、安心して正当性を即座に検証可能

2.0から3.0への主な進化点

オープンバッジ3.0は、これまでのデジタル証明のあり方を根本から変えるパラダイムシフトです。

	2.0	**3.0**
データ形式	従来のデータ形式	**次世代の世界標準フォーマット**
セキュリティ	偽造のリスク	**高度な暗号技術でより強固に**
プライバシー	すべての情報公開前提	**受領者が開示情報を選択可能**
相互運用性	バッジ間のみの連携	**他のデジタル証明とも連携可能**

導入前の「よくあるご質問」

オープンバッジの導入にあたり、担当者様からよくいただく疑問にお答えします。

Q. 既存の人事システムやLMSと連携できますか？

A. はい、世界標準規格に対応したシステムであれば、スムーズなデータ連携が可能です。

Q. 導入や運用コストは高くないですか？

A. 初期費用はかかりますが、紙の証明書の印刷・郵送費や管理の手間がなくなり、中長期的にコストを削減できます。

まとめ：「学習歴」時代をリードする、次世代の人材マネジメントへ

オープンバッジ3.0は、デジタル証明の信頼性、安全性、プライバシー保護を大きく前進させました。
「学歴」から「学習歴」が重視される時代において、組織のタレントマネジメントを支える強力なインフラとなります。

貴社の教育・採用戦略にも、ぜひ最新のデジタル証明の導入をご検討ください。

デジタルバッジソリューション・KnowledgeDeliverのご紹介

貴社に最適なデジタルバッジソリューション

デジタル・ナレッジでは、目的や体制に合わせて選べる4つのデジタルバッジソリューションをご用意しています。
小さく始めたい方から、自社独自のシステムを構築したい方まで、あらゆるニーズに対応可能です。

発行

**Skill+デジタルバッジ
発行サービス**

手軽にバッジの発行を
スタートしたい企業様向け

詳しくはこちら

管理

KnowledgeDeliverSkill+

スキルのマネジメントまで
一貫して行いたい企業様向け

詳しくはこちら

独自に構築

**デジタルバッジ
デベロップメント**

自社専用のバッジシステムを
ゼロから開発したい企業様向け

詳しくはこちら

LMSと連携

**KnowledgeDeliver
デジタルバッジオプション**

既存のLMSと連携して
自動発行を行いたい企業様向け

詳しくはこちら

弊社製品のご紹介：KnowledgeDeliver

KnowledgeDeliver

KnowledgeDeliver （ナレッジデリバー） は、教材作成、学習、運用管理の3つの機能を標準搭載したeラーニング統合プラットフォームです。多彩な教材形式に対応し、マルチデバイスでの学習をサポートします。

詳しくはこちら

KnowledgeDeliverの特長

- 教材作成・学習・運用管理まで、これ1つでオンライン学習環境を整備
- 動画教材作成も、既存のOffice資料の教材化もWebベースで簡単
- 従業員一人一人の学習進捗・理解度・獲得スキルを明確管理
- 従業員がマイページで自身の学習進捗等を確認可能
- 社内eラーニングだけでなく、外部ウェビナーを含むあらゆる学習履歴を一元管理
- 人事データベースや、タレントマネジメントシステムとの連携
- 次世代の学習証明「オープンバッジ」対応、獲得したスキルを世界標準で見える化
- ニーズに応じた柔軟なカスタマイズ開発

弊社製品のご紹介：KnowledgeDeliverが選ばれ続ける9つの安心

ご要望に合わせたカスタマイズ

人事連携や独自機能など柔軟な開発が可能。

これ１つで完結

教材作成・学習・管理の必須機能を標準搭載。

3,000以上の導入実績

企業や学校など圧倒的実績。専門スタッフが伴走。

年4回以上のバージョンアップ

最新トレンドに合わせ、年4回の新機能追加を実施。

選べる導入形態

クラウドからオンプレまで要件に合わせて選択可能。

大規模運用にも対応

数万人規模のアクセスにも耐えうる強固なサーバー。

安心の運用サポート

導入後も電話やメールで手厚くフォローします。

万全のセキュリティ対策

脆弱性対策など、高いセキュリティ基準をクリア。

多言語対応

英語や中国語にも対応。グローバル人材育成に。

お問い合わせ・ご相談はこちらまで

最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。
eラーニングの導入や、効果測定に関するお悩みは、ぜひお気軽にご相談ください。

お問い合わせフォーム

お電話でのご相談

導入のご相談：050-3628-9240
その他お問い合わせ：03-5846-2131

デジタル・ナレッジ　https://www.digital-knowledge.co.jp/